

優秀賞

リフォーム前後の写真

タイトル

八事山の家2011
一光・風・緑と育つ素材の空間へー

タイプ

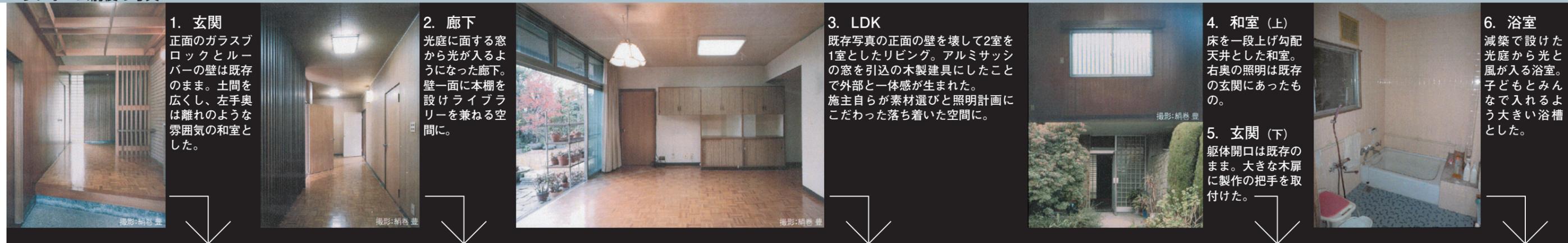
持家一戸建

構造

鉄筋コンクリート造

講評

上位賞検討作品。規模の大きいRC住宅の1階部分だけのリフォームで、家族人数増加に応じて居住空間を順次増やす計画。従前のデザインを残しながら、素材にこだわった新しい空間を実現している、秀逸な作品である。



1. 玄関
正面のガラスブロックとルーバーの壁は既存のまま。土間を広くし、左手奥は離れのような雰囲気のと室とした。

2. 廊下
光庭に面する窓から光が入るようになった廊下。壁一面に本棚を設けライブラリーを兼ねる空間に。

3. LDK
既存写真の正面の壁を壊して2室を1室としたリビング。アルミサッシの窓を引込の木製建具にしたことで外部と一体感が生まれた。施主自らが素材選びと照明計画にこだわった落ち着いた空間に。

4. 和室 (上)
床を一段上げ勾配天井とした和室。右奥の照明は既存の玄関にあったもの。

5. 玄関 (下)
躯体開口は既存のまま。大きな木扉に製作の把手を取付けた。

6. 浴室
減築で設けた光庭から光と風が入る浴室。子どもとみんなで入れるように大きい浴槽とした。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

<リフォームの目的・動機>

親族が暮らした築46年RC造の住宅を、30代夫婦+子の一家が住み継ぐにあたってリフォームすることになった。

<設計上の工夫>

■施主の要望は今後も長くこの家を使い続けたいということ。それを受けて今後も定期的に改修しながら住み続けていくことを提案し、今回は耐震改修と現在必要な室を計画した。

既存の躯体と開口を生かして、光と風と、周辺の緑を室内に取り込めるよう内部の計画を丁寧に検討した。

■主な仕上げは天然木や左官とし、金物や手洗い鉢などは職人に製作を依頼した。年月が経つにつれて育つ素材を施主とともに吟味することで、長く愛着の持てる空間になることを意図している。

<施主の感想>

施主はもちろん、親族も、愛着のある住宅が一新されて使い続けられていくことに大満足している。

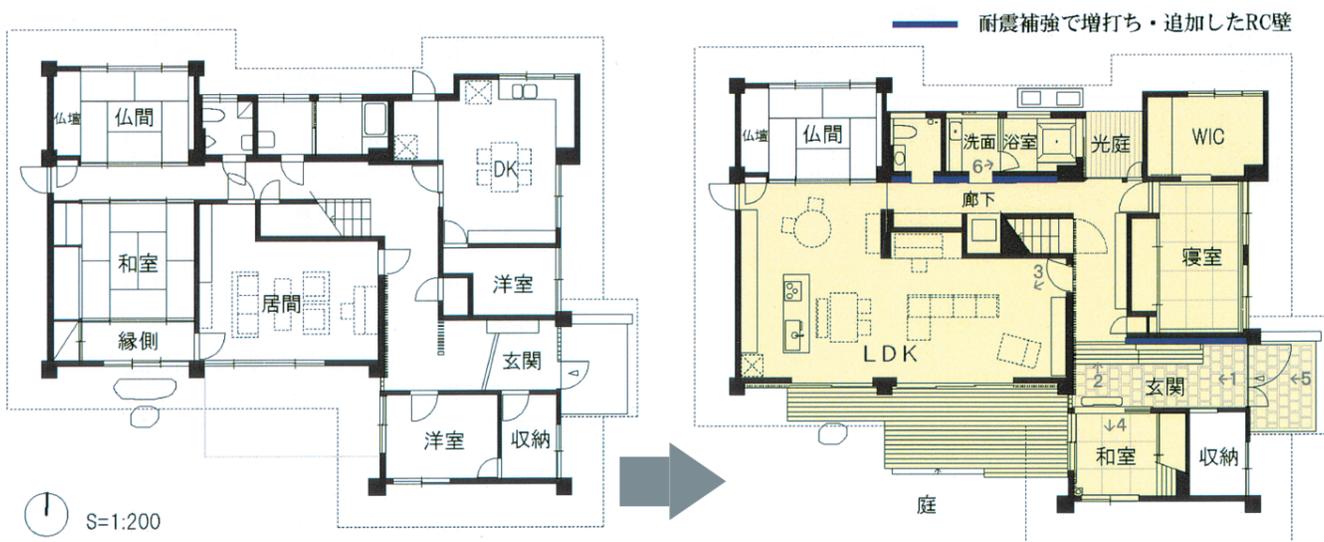
性能向上の特性
耐震性能 耐久性能 温熱性能
室内空気環境

特に配慮した事項
コンクリート壁追加・増打ちによる耐震補強、設備配管の更新、設備機器の更新、断熱を施工、窓サッシの気密化、複層ガラスへの交換、自然素材の仕上げ材の交換

所在地	愛知県名古屋市	築後年数	45年	施工期間	100 日間
該当工事面積	139 m ² /総工事床面積 139 m ²	該当部分工事費	2,600 万円/総工事費 2,600 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2 人/65歳以上: 1 人/15歳未満: 1 人/ペット:				
設計会社	伊藤倉庫 (株)	担当者	伊藤 睦子		
施工会社	(株)友八工務店	担当者	橋本 智広		

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部